

フィルターボックス

形名 **P-150FB-KN, P-200FB-KN**

取付工事・取扱説明書

お客さまへ ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

●他の換気ユニットなどの取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

工事店さまへ 取付工事を始める前に必ずこの取付工事説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

指示に従う

- お手入れの際は必ず換気ユニット本体の分電盤のブレーカーを切る
換気ユニットが通電状態では感電やけがをすることがあります。

禁止

- 外気温度が-10℃を下回る地域（次世代省エネルギー基準Ⅱ・Ⅲ地域以北等）や製品周囲が高湿環境（20℃、相対湿度60%に相当する水蒸気量=絶対湿度0.0087 kg/kg以上）となる場所には取付けない。また、製品下には物を置かない結露水が滴下することがあります。
- 高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない 火災のおそれがあります。
- 機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には取付けない 故障の原因になります。

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

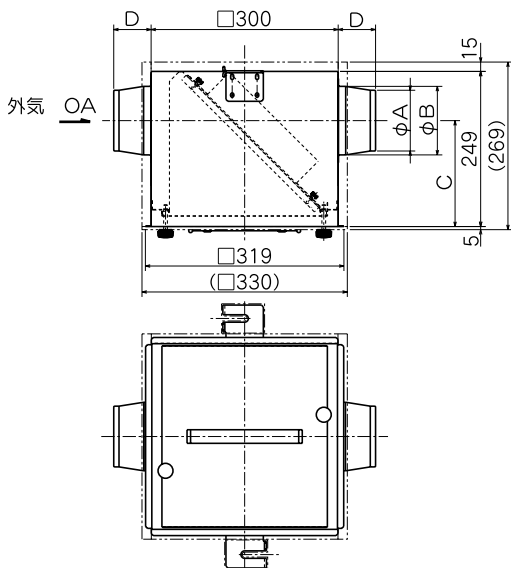
指示に従う

- お手入れ後、部品は確実に取付ける
落下によりけがの原因になります。
- お手入れ及び取付の際は手袋を着用する
けがの原因になります。
- お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱及び清掃を行わない 転倒によりけがをすることがあります。
- フィルターボックスは十分強度のあるところを選んで確実に取付ける 落下によりけがの原因になります。
- フィルターボックス周辺はメンテナンススペースを確保する
- 給気ダクトの先端には、雨水、雪などの浸入を防ぐためのフードを取付ける
- OA接続口から室外側のダクト配管は長さ1.5～2.5mとし、室外に向かって1/30以上の下りこう配になるように取付け、断熱処理を確実に（断熱フレキシブルダクトを必ず使用する） 雨水の浸入による他の電気製品での感電・火災や家財の汚損のおそれがあります。

お願い ●下記の溶剤・洗剤を使用して清掃しないでください。
アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等けんま材入りの洗剤（変質・変色の原因になります）

メモ ●フィルターボックスは、外気に含まれる粉じん、砂じん、花粉など2μm（0.002mm）以上の粒子を約90%（質量法換算値（比色法65%））取り除いて外気を室内へ取り入れますが、小さな粒子や虫などが通過する場合があります。
●虫の発生が多い地域では、製品内に虫が侵入する場合がありますが異常ではありません。その際は、掃除機等で清掃してください。

外形寸法図



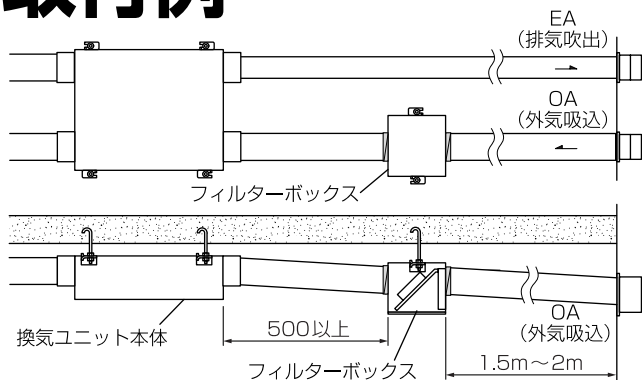
■付属部品

- 天吊金具……………2個
- 幅広断熱材……………2個
- 幅細断熱材……………2個
- 目地貼り用断熱材……………1個
- 吊金具カバー断熱材……………2個
- 吊金具断熱材……………2個
- 吊金具断熱材（上取付け用）……………2個
- ネジ類（袋入り）……………1セット
- 銘板……………1枚

■変化寸法表

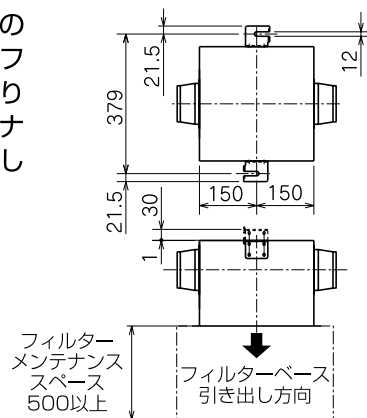
形名	A	B	C	D	質量 (kg)	適用パイプ口径
P-150FB-KN	97.5	110	170	60	6	φ100
P-200FB-KN	142	160	155	70	6	φ150

取付例



メンテナンススペース

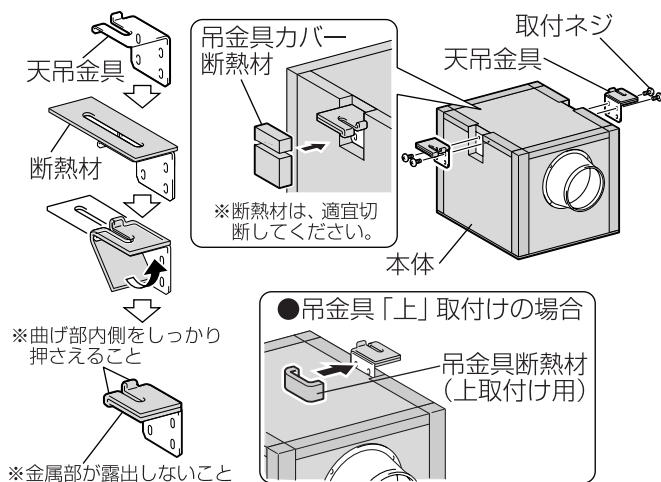
■フィルターボックスの取付前に必ず右図のフィルターベースを取りはずすためのメンテナンススペースを確保してください。



取付方法

フィルターボックスの取付け

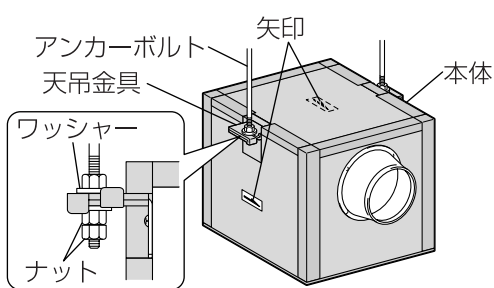
1



天吊金具の取付け

1. 上記メンテナンススペースの天吊金具位置を参照し、あらかじめ市販のアンカーボルト (M8 または M10) を埋込む。
2. 天吊金具に吊り金具断熱材を貼り付ける。
3. 天吊金具を取付ネジ (2 本) でフィルターボックスに取付ける。(2 か所)
※天吊金具の取付穴 (上側 2 個または下側 2 個) を選択することにより高さが調節できます。
4. 吊金具カバー断熱材を必要な長さに切断し、天吊金具ツバの上・下に貼り付けて、断熱欠損部分を補強します。
※天吊金具「上」取付けの場合は、吊金具断熱材 (上取付け用) を天吊金具の根元部へ巻き付けて (1 重) 貼ってください。

2



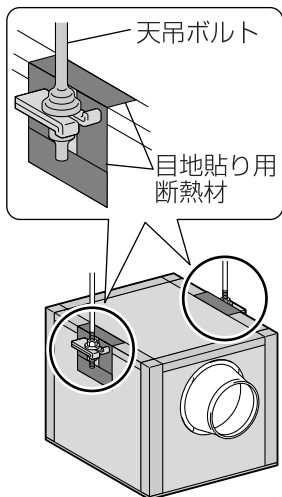
フィルターボックスの取付け

フィルターボックスの取付けには方向性がありますので矢印を風方向に合わせて、水平になるようかつ、図のように吊金具が上になるように取り付け、アンカーボルト・市販のワッシャー・ナットで固定する。

お願い

- 取付例にもあるように必ず換気ユニット本体の室外給気 (OA) 側に取り付けてください。

3



天吊金具部の断熱処理

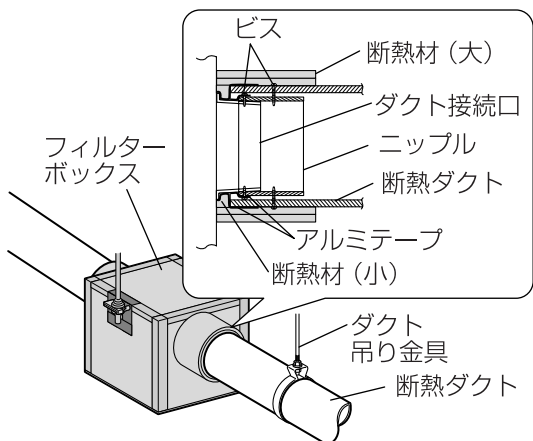
1. 目地貼り用断熱材を吊金具カバー断熱材の目地をふさぐように貼り付ける。
●天吊金具「下」取付けの場合 ●天吊金具「上」取付けの場合
2. 反対側の天吊金具部も上記と同じ要領で断熱処理を実施する。
3. 天吊ボルト・ナット・ナット締付部付近はあまった断熱材や市販の断熱材で断熱処理を施す。
4. 断熱処理終了後、付属の銘板を見やすい位置に貼る。

お願い

- 断熱材は浮き・すき間が無いようしっかりと押さえ付け、密着させて貼り付けてください。結露の発生原因となります。

ダクト工事

ダクト接続口の取付け



1. ダクト接続口にニップルを抜けないようビス止めし、風漏れのないよう市販のアルミテープで固定する。(両側とも)
2. 取付けたニップルにダクトをしっかり差し込み抜けないようビス止めし、風漏れのないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
3. ダクトは、フィルターボックスに力が加わらないよう天井から吊す。
4. ダクトは、必ず断熱ダクトを使用し、接続部は付属の断熱材で断熱処理を施す。
 - ①断熱材(小)をダクトとフィルターボックスのすき間を埋めるように巻き付けて(1重)貼る。
 - ②さらにその上に断熱材(大)をフィルターボックスとのすき間ができないように2重に巻き付ける。

お願い

- 結露防止のため必ず断熱処理を施してください。
- ダクト接続する前にダクトの中に切り粉、異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。
- 左図のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

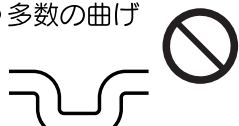
※アルミテープ、ビス、ダクト支持部材は、現場手配品となります。

※ニップルは、本体ダクトセット(13GDS又は18GDS)に同梱されています。

● 極端な曲げ



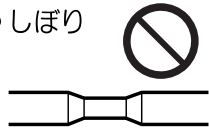
● 多数の曲げ



● 吐出口のすぐそばでの曲げ



● しぼり



お手入れのしかた

■機能を長く維持していただくために、フィルターに付着したごみ、ほこりを定期的に清掃してください。
(換気ユニット本体のコントロールスイッチに表示されるフィルタークリーニングの表示を目安に清掃してください。)

警告

- お手入れの際は必ず換気ユニット本体の、分電盤のブレーカーを切る(換気ユニットが通電状態では感電ややけどをすることがあります)

お願い

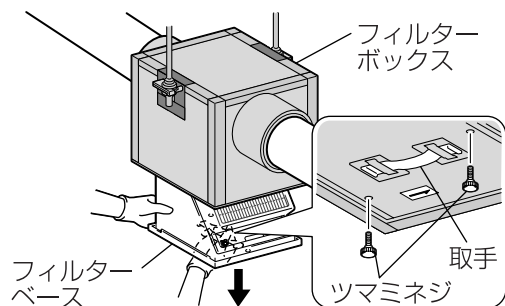
- 下記の溶剤・洗剤を使用して清掃しないでください。
アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等けんま材入りの洗剤(変質・変色の原因になります)

注意

- お手入れの際は手袋を着用する(着用しないとけがの原因になります)
- お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱および清掃を行わない(転倒によりけがをすることがあります)
- フィルターベースを取りはずす時に、ホコリ等の飛散に注意する(目や口に入ることがあります)

各部品の取りはずしかた

1



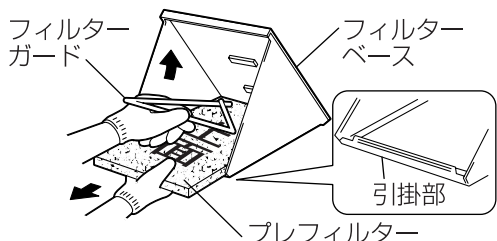
フィルターベースの取りはずし

2つのツマミネジをはずし、取手を持ってフィルターベースごと下へ引き出します。

お願い

- ツマミネジをはずすときは、フィルターベースを手で支えながらはずしてください。フィルターベースが落下するおそれがあります。

2



プレフィルターの取りはずし

フィルターガードを引掛部からはずし、プレフィルターを取り出します。

お手入れのしかた つづき

プレフィルターの清掃 …6か月に1回以上

1. 軽く手でたたか、または掃除機でほこりを吸い取る。

汚れがひどい場合は、水またはぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

お願い

- 熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
- 押し洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。
- 火にあぶることは絶対に行わないでください。
- フィルターを入れ忘れないでください。

メモ

- 交換用のプレフィルターが交換部品として用意されていますので古くなったプレフィルターはP-150FB-KN用プレフィルターまたは、P-200FB-KN用プレフィルターと交換してください。

プレフィルターの交換は以下の状態を目安にしてください。

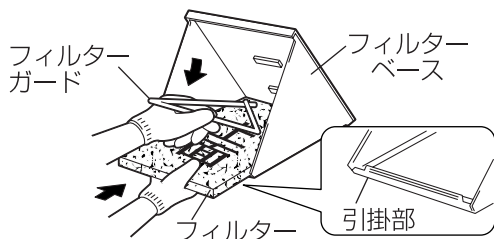
①プレフィルターを清掃しても汚れが落ちない場合。

(黒いままの状態)

②プレフィルターが部分的に薄くなった場合

フィルターベースの清掃

1. 掃除機等でチリやホコリを清掃する。



取付けは取りはずしと逆の順序で組み立てる。

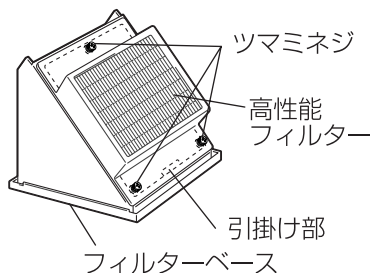
1. フィルターは「上面」を上にして入れ、奥の溝にしっかりとめ込む。
 - フィルターガードは引掛部に確実に固定してください。

お願い

- フィルターベースは、水洗いを絶対にしないでください。サビの原因になります。
- 下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等けんま材入りの洗剤（変質・変色の原因になります）
- 虫の発生が多い地域では、製品内に虫が侵入する場合がありますが異常ではありません。その際は、掃除機等で清掃してください。

高性能フィルターの交換 …6か月に1回以上（目安）

- ツマミネジ（3か所）をはずすと高性能フィルターが取りはずせます。
- 新しい高性能フィルターに付け替えて、交換前と同様にツマミネジで固定してください。



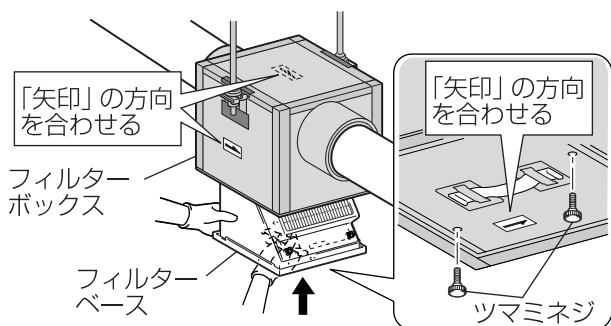
メモ

交換用の高性能フィルターが交換部品として用意されていますので古くなった高性能フィルターはP-150FB-KN用高性能フィルターまたは、P-200FB-KN用高性能フィルターと交換してください。

高性能フィルターの交換は、以下の状態を目安にしてください。

- ①高性能フィルターの汚れがひどい（黒くなっている）場合
- ②換気ユニット本体の給気風量の低下がいちじるしい（風が出ない）場合
- ③高性能フィルター外周のクッション材が、はがれたり、破れはじめた場合
- ④高性能フィルターにやぶれや、枠からはがれがある場合

フィルターベースの取付けかた



フィルターベースの取付け

1. フィルターベースの矢印とフィルターボックスの矢印の方向を合わせ奥まで押し込む。
2. ツマミネジ2本で落ちないようにしっかり止める。

 三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。